

七高SSH通信

R1・7・31
石川県立七尾高等学校
SSH推進室 第7号

先端科学実験施設研修

7月22日(月)、岐阜県飛騨市にある、スーパーカミオカンデ(東京大学)・カムランド(東北大学)を見学する先端科学実験施設研修を行いました。参加者は1年生の普通科・理数科の希望者35名です。これらの施設は、個人では見学はできず、SSHに指定されている高校など、限られた人のみ見学ができる貴重な施設です。生徒は研究者の方に質問をするなど、積極的な姿勢で研修に臨んでいました。

感想

- ニュートリノ振動が何なのか事前学習ではよく分からなかったが、講師の先生の詳しい説明を聞くことで、理解できた。さらに鉱山の中を見学することで、写真では分からない生の環境を知ることができた。
- スーパーカミオカンデやカムランドでは、研究を精密なものにするために、とても多くの工夫や仕組みがあるとわかり驚いた。
- チェレコフ光を観測することで、ニュートリノについて調べていることをはじめて知った。
- 現場でしか分からない苦労や工夫の話がとてもためになった。事前学習で分からなかった点や、気になった点を理解できたので良かった。



探究Ⅰ(第1学年)



「ポスター発表練習会」(7月16日)

1年生の「探究Ⅰ」の探究活動で作成したポスターについて、その発表練習会を行いました。初めてとあって、原稿の暗記、ポスターの見せ方、質疑応答などに苦戦する様子も見られましたが、どの班も練習の跡が伺え、今後の伸びが大いに期待できる発表でした。



～生徒の感想～

- 発表内容を簡潔にまとめて言うこと、質問される内容を想定して事前に調べておくことが大事だと思った。
- 質問されても迷わず答えることができるとより良いと思う。
- 内容が詳しく、聞き手に疑問を投げかけるようにしていたので、マネしたいと思う。
- 他のクラスの発表を聞いて、自分たちと違う工夫がたくさんあった。ジェスチャーを入れたり、次の課題を明確にしているところなど参考にしたい点があった。

F探究Ⅰ(第1学年普通科)

「プレゼンテーション講座」(7月9日)

本校視聴覚教室において、「ポスター作成講座」に引き続き、金沢大学環日本海域環境研究センターの本田匡人先生を講師に迎え、F探究Ⅰ(第1学年普通科)で「プレゼンテーション講座」を行いました。

生徒は、プレゼンテーションを行う上で大事なことや注意すべきことをグループワークを行いながら、楽しく学んでいました。

今後の探究活動での発表において、参考になる点が非常に多く、これからの生徒の発表が楽しみになる講座でした。

